

生徒指導部の取組

生徒指導部長 木村 拓磨

1 本年度の目標

「姫路別所高校ドリームプロジェクト」を継続し、「爽やかスクールライフプロジェクト」並びに「自分発見スクールライフプロジェクト」を展開する。不易（情報化社会の進展に影響を受けないもの）と流行（変化している部分）の構造を理解させ、日常生活に関連させた学習計画を立て、自分の思いを伝える能力を構築するために、傾聴による聞く側の態度を養うことを目的とする。「爽やかスクールライフプロジェクト」では、「元気なあいさつ」向上プラン・細やかな心配り」向上プラン・「自己有用感」向上プラン、「自分発見スクールライフプロジェクト」では、「言語環境」向上プラン・「問題解決力」向上プラン・「地域との関わり」向上プランを具現化し、学校・家庭・地域社会・関係諸機関との連携を密にしながら、人間的なふれあいに基づく生徒指導を推進し、人間としての在り方・生き方を考え、好ましい人間関係を築く中で自主・自律の精神を育み、活力ある学校づくりを推進する。また、姫時特別支援学校本校並びに分教室との交流を通じて「共生の心」の育成を図る。

- (1) 学校の抱える課題や指導方針について家庭・地域・関係諸機関の理解と支援を得て、家庭・地域の教育力を活用した生徒指導を展開する。
- (2) 共感的理解に基づく指導を通して、規範意識を高め、道徳心・自律心の育成を図る。授業や学校行事等、学校内外での全ての活動を通じて、基本的な生活習慣や社会性・道徳性を身につけるよう生徒指導を徹底する。
- (3) 自己有用感を育むことにより、自己肯定感や自尊感情を高め、生きる喜びと命の大切さを実感させる教育の充実に努め、自他の命や尊厳を大切にすることを育む。
- (4) 保護者やキャンパスカウンセラーとの連携を密にし、長期的・継続的な視野に立って不登校・いじめ等への適切な対応を図る。心のサポート体制を充実し、社会人基礎力の向上に努め、更にいじめの予防対策を推進する中でいじめ未然防止の研究をすすめ、問題行動の発生や再発を防ぐとともに、体験活動を通して学校不適応傾向のある生徒の社会性、自立性を育成する。
- (5) 生徒に適した特別指導の在り方の研究を進め、効果的かつ機動的な対応ができるよう全教職員に生徒指導方針の共通理解を図る。問題行動等に対して組織的に早期発見、早期解決に努める指導体制づくりを進める。

2 重点目標

- (1) 生徒の実態に即した指導項目の精選と分類整理による指導基準の整備
- (2) 比例原則に従った指導対象項目に対する適切な指導方法の設定
- (3) 個別支援を必要とする生徒の見極めと対象生徒に対する具体的な個別支援方法の模索
- (4) 体験学習等を通じ、自尊感情の醸成を企画・立案・運用する生徒指導・支援体制の確立に向けた研究
- (5) 遅刻者への指導と遅刻を減らすための取り組み
- (6) 身だしなみ（服装・頭髪等）に関する指導の徹底
- (7) 通学マナーの改善と交通安全指導の徹底

3 「重点課題」の克服のための具体的な取組

- (1) 生徒指導における心のケアを充実し、問題行動に対する毅然とした態度とともに、生徒への共感的理解を徹底することで、問題行動の未然防止と再発防止双方に対する取組を強化する。
- (2) 指導基準の整備と指導基準の教員及び生徒間での共通理解のさらなる徹底を目指す。
- (3) 特別指導プログラムとして、謹慎後の事後指導を含めた特別指導プログラムを研究する。
 - ①必要に応じて生徒支援部、キャンパスカウンセラー、外部機関等と連携し、個に応じた支援を行う。
 - ②体験活動（清掃ボランティア等）、分教室との交流及び共同学習を始めとした交流活動等の効果的な取組を研究・実践する。
- (4) 社会人基礎力の向上を目指し、生徒が相互に助け合い、課題を解決する能力の育成に努める。
- (5) 地域との連携を深めることで、多様な人々との交流を通じた生徒の自尊感情を高める機会を創出する。

4 主な年間指導計画（新型コロナウイルス感染症対応で変更の可能性あり）

4月	生徒指導初エディション(新生入生・新着任者向け)	9月	交流文化祭、第2回生活実態調査
5月	第1回i-check、第1回交流学習(5/24)	10月	第2回i-check、第2回生徒指導研修会
6月	交流体育祭(6/13)・第1回生活実態調査	11月	ひめよう祭 第2回交流学習
7月	七夕まつり、第1回生徒指導研修会	12月	Winter Concert 2020 in 姫路別所